

令和2年第2回厚真町議会定例会一般質問通告一覧表

(令和2年6月11日)

通告議員氏名	質 問 の 要 旨	備考
1	<p style="margin-left: 20px;">伊藤富士夫</p> <p>1 災害公営住宅等について</p> <p>(1) 災害公営住宅などの敷金・家賃について、厚真町営住宅の設置及び管理に関する条例第16条、第19条にもあるように、家賃の減免又は徴収猶予の取り組みについて町の考えは。</p> <p>(2) 災害公営住宅などの施設の中身について</p> <p style="margin-left: 40px;">ア 室内のバリアフリー化はされているのか。</p> <p style="margin-left: 40px;">イ インターネット環境は整備されているのか。</p> <p style="margin-left: 40px;">ウ 災害公営住宅らしく、太陽光発電設備の設置を行ったらどうか。</p> <p>2 1年単位の教員の変形労働時間制導入について</p> <p>(1) この制度について教育長の考えは。</p> <p>(2) 導入された場合、今後の動きはどのようになっていくのか。</p> <p>(3) 導入前に解決すべき課題がある。</p> <p style="margin-left: 40px;">部活動のあり方、教職員の定数増、不要不急の業務の削減など、これらについてはどのように進めていく考えか。</p>	<p>収受 5/29</p>
2	<p style="margin-left: 20px;">橋本 豊</p> <p>1 破損した街灯の修復等について</p> <p>平成30年に起きた地震以後、街灯が破損したままの状態のところも見受けられる。</p> <p>車両の通行にも支障をきたしており、特に北部地区において早期の修復及び増設はできないものか。</p> <p>2 臨時休校等による学習の遅れへの対応について</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、各学校では臨時休校や分散登校が行われ、児童・生徒及び保護者は困惑した生活を送ったと思われます。</p> <p>長期にわたる臨時休校等により生じた学習の遅れに対する今後の対応はどのように考えているのか。</p>	<p>収受 6/2</p>

3	下司 義之	<p>1 エネルギー地産地消事業</p> <p>令和元年11月26日に開催された第12回厚真町議会臨時会において、調査委託料等93万1千円が決定されたエネルギー地産地消事業は、認定事業名「厚真町「地産地防」エネルギー6次産業化プロジェクト事業」として、最長3年間を事業期間としている。実施主体はコンソーシアムであり、その代表者がエーゼロ株式会社であるが町も構成員であり、さらに、公共施設と密接な関係のある事業であることから、その進捗状況を問う。</p> <p>2 地域おこし協力隊</p> <p>厚真町では、起業型地域おこし協力隊を積極的に受け入れていて、定住率なども他に誇れるものとなっている。</p> <p>一方で、協力隊の人数が多くなったこともあり、町民にはその活動が目立たなくなっている。</p> <p>地域おこし協力隊を応援するという意味においても、今一度、町民に対し、制度の紹介と協力隊の活動状況を積極的に情報発信をするべきと思うが。</p> <p>3 経済活性化対策</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、町内でも影響を大きく受けた業種が有る。</p> <p>町では道内でも先進的に対策を打ち出し、事業者も緊急的な運転資金の確保はできたものの、宣言が解除されても第2波、第3波も心配され、感染症の脅威が収束するまでには相当な期間が必要かと思われる中、影響の大きかった業種の経営立て直しも喫緊の課題である。</p> <p>第1弾の金融、第2弾の助成金に続く第3弾に対する考えは。</p> <p>4 ふるさと納税</p> <p>令和2年度、ふるさと納税は4億円が予算化され、内基金積立金1億5650万円、返礼品に係る経費1億2000万円、その他の経費として1億2350万円が計上されている。</p> <p>その他の経費の内、返礼品に係る経費の内、送料及び広告・手数料経費4499万円、ふるさと納税事務委託料3887万円、公金支払いシステム及びポータルサイト使用料として3931万円、他33万円となっている。</p> <p>返礼品事業者が、ふるさと納税業務委託業者に支払う事務代行手数料は、特産品開発機構が業務を行っていた時は返礼品額の10%であったが、現在どの様になっているか。</p>	<p>収受 6/3</p>
---	-------	---	-------------------